

# 地震・津波に備える②

津波は海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべり、海底での地崩れ、海底火山の噴火などによって引き起こされます。海底で起きた現象によって、海水が陸地に押し寄せた現象を「津波」といいます。

津波から命を守るためには「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」…すぐに避難!!  
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」…すぐに避難!!

## 津波警報・注意報について

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震が起こった場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます

- 巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。
- このとき、最初の津波警報では、予想される津波の高さを、「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。



「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、すぐに高い場所に避難しましょう!

正確な地震の規模が分かった場合

予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さだよ。津波が陸上で崖などを駆け上がった高さは、津波の高さの何倍にも達することがあるよ!

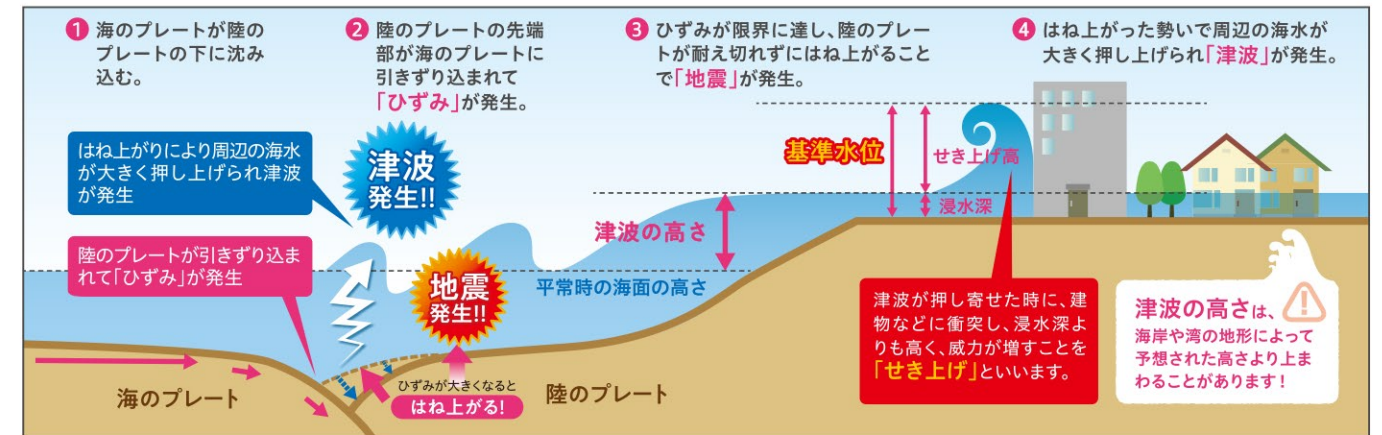
## 津波警報・注意報の種類と、とるべき行動

	発表される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報)	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m (5m<予想高さ≤10m)		
	5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!
津波注意報	1m (20cm≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

## 冬の津波

冬にも津波は発生する可能性があります。津波は陸上や河川の上流まで雪などの様々な漂流物とともに押し寄せ、甚大な被害をもたらします。また、気温や海水温が低いことも津波の被害が拡大する要素となっています。冬は積雪や凍結のため歩きにくくなっていることや、歩道や道路の道幅が狭くなっていることなどから、夏場よりも避難に時間を要することが予想されます。そのため、津波警報などが発表された場合は、安全な場所への早めの避難行動が大切です。

## 津波ってなに? どうして起こるの??



## 津波災害の避難行動

すぐに避難! 車は使用しない!

非常持ち出し品を持ってすぐに避難しましょう。道路の渋滞により、車ごと津波の犠牲になることもありますので、地震の時はなるべく車で避難するのはやめましょう。



すぐに海岸や河川から離れる!

揺れが収まりしだい、直ちに海岸や河川から離れましょう。津波は河口から川をさかのぼり、堤防を越えてくる恐れもあります。



「より高い場所」へ避難!

津波は予想より高くなる場合があります。「ここまでは津波がこない」という想定にとらわれず、可能な限り「より高く」、「より高い場所」へ避難しましょう。



逃げ遅れたら頑丈な建物に避難!

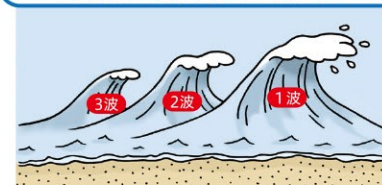
万が一逃げ遅れた場合には、付近のビルの2階以上や高台へ、一時的に避難しましょう。

普段から避難できる場所を確認しておこう!



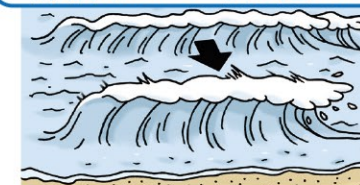
## 津波の注意点

津波は繰り返し来る!



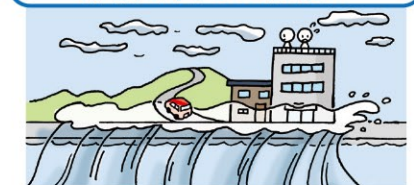
津波は2波、3波と繰り返し襲ってきます。注意報・警報が解除されるまでは避難していきましょう。

津波のスピードは速い!



「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあり、津波の速度は海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあります。

津波の高さに注意!



海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

引き潮がなくても注意!



津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

満潮時は要注意!



満潮時は水位が高くなっているため、津波がより大きくなります。

弱い地震でも要注意!



弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。